

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス オールスター		
○保護者評価実施期間	2026年 4月 1日		2026年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年 4月 1日		2026年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や関係各所とのコミュニケーション(家族から相談がある際にすぐ対応している)	保護者にはLINEや、送迎時の口頭で、今日あった出来事を伝える(良い点も悪い点も)。また逆に、家庭での状況を把握しての療育に繋げている。家庭や学校など関係各所から新情報があれば、もれなく終礼などで共有している。	良いと思った気付きの部分を細かく伝える。また、些細なことにも注意を怠らない。家庭、学校の教室ごとに児童の様子が違うことを前提に、情報をさらに集めた上で、ミーティングや終礼を行う。
2	広い活動スペースで、静・動の部屋と活動を二分できること	体を動かす活動を工夫している。なるべく児童が単独活動・行動にならないよう、集団活動を企画している。	障害に合わせたアプローチをしている。児童が怪我をしないように、動・静の部屋に気配りが必要。
3	児童との対面支援	トラブルがあった際、個室で話し合いをする。なるべく話し合っ解決し、心のつかえのない状態で帰宅できるよう努めている。	様々な障害に対してのアプローチ方法を工夫する。その児童のバックグラウンドにももっと着目する必要がある。ひいき目で見ず、客観的に見て支援する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現状だと、職員(常勤)の人数が足りていない	急な退職等で人が少なくなるのは仕方がないが、すぐに人を雇うのも難しい。	短時間パート等で不足分はカバーしているが、早急に常勤の確保に努めたい。
2	保護者同士、あるいは地域や他事業所との交流が少ない	人手不足でなかなか難しい現状。	まずは人員確保。それでも少人数なりに出来ることをコンスタントにやっていきたい。
3	活動内容をもっと保護者に知ってもらう必要がある	行った活動内容を保護者が知らないケースも多い。	SNS等でアップしているが、口頭でも細かく伝えるようにしていく。